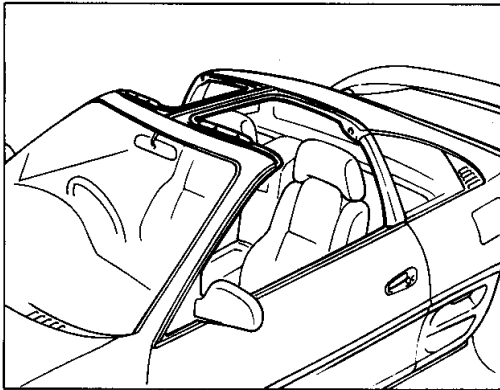


Tバールーフ	86
トラクションコントロール(TRC)	89
ABS	90
SRSエアバッグ	91



Tバールーフ

装着車あり

Tバールーフはルーフの左右が別々に脱着でき、ルーフ内の内側にはサンシェードも備えられています。



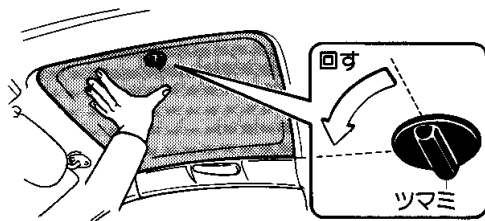
注意!

1. ルーフラック、スキーラックなどはガラスルーフ部に取りつけないでください。ガラスルーフを損傷させるおそれがあります。
2. ルーフラックは、トヨタ純正のTバールーフ車専用ラックをご使用ください。

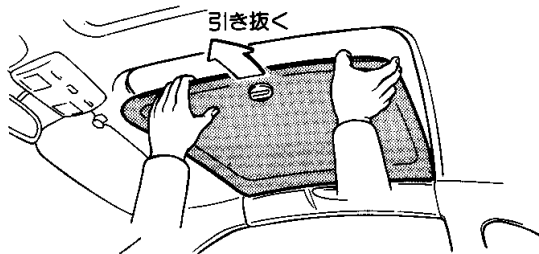
サンシェードを脱着するときは、サンバイザーを下げてから脱着操作を行います。

▶サンシェードの取りはずし方

1. LOCKツマミを左に90°回してロックをはずします。



2. サンシェードを室内側に引き抜きます。

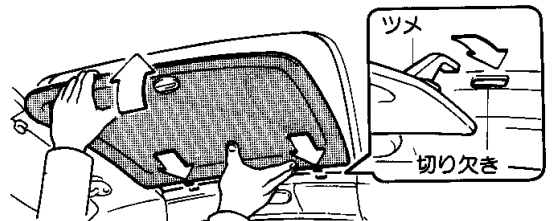


注意!

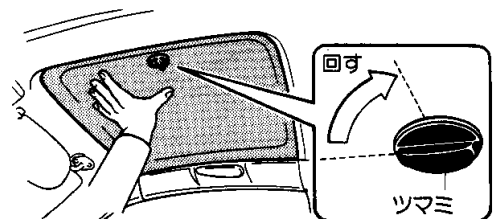
走行中はサンシェードの脱着操作を絶対にしないでください。

▶サンシェードの取り付け方

1. サンシェード側面のツメをルーフ側面の切り欠きにあわせて差し込みます。



2. LOCKツマミを右に90°回してサンシェードを固定します。

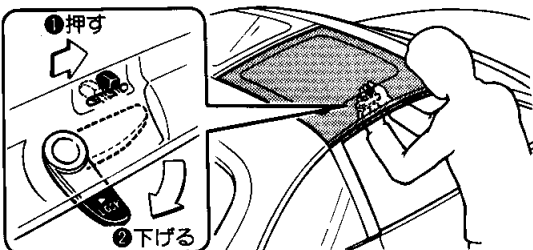


注意!

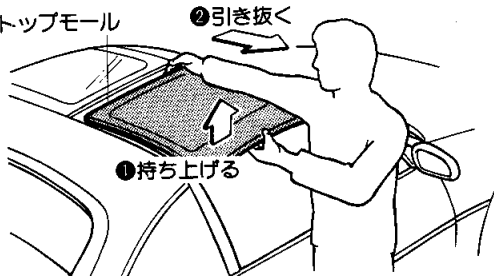
1. 取り付けは正確に行い、必ず各部が固定されているか確認してください。
2. サンシェードは左右それぞれ専用ですので取りつけるときは注意してください。

▶ルーフの取りはずし方

1. サンシェードを取りはずします。(86ページの「サンシェードの取りはずし方」を参照してください。)
2. ①UNLOCKノブを車両前方へ押したまま、②ハンドルを引き下げます。



3. ①ルーフ側面を上方へ軽く持ち上げ、②トップモールから引き抜きます。

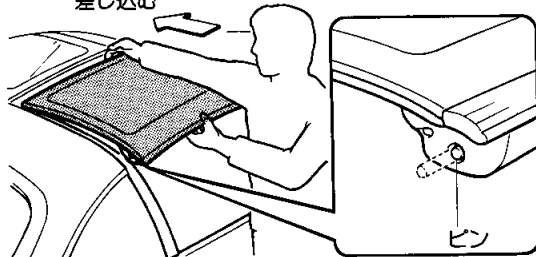


走行中はルーフの脱着操作を絶対に行わないでください。
注意!

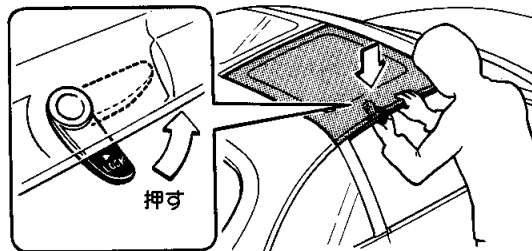
▶ルーフの取り付け方

1. ルーフ左右のロックピンが出ていないこと(ハンドルが下がった状態)を確認し、ルーフをトップモールの溝に差し込みます。

差し込む



2. ルーフを静かにおろし上から押えつながら、ハンドルをカチッと音がするまで押し上げます。



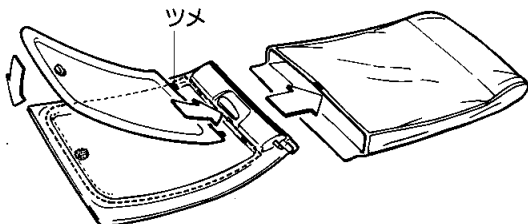
取り付けは正確に行い、必ず各部が固定されているか確認してください。
注意!

▶ルーフおよびサンシェードの格納のしかた

取りはずしたルーフおよびサンシェードは備えつけの収納袋に納めて、シートうしろ側に置き、固定ベルトで固定します。

〈収納袋への納め方〉

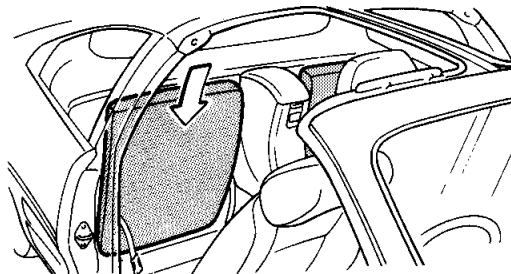
ルーフとサンシェードを一緒に収納する場合は、サンシェードのツメをルーフの切り欠きに差し込んでから収納袋に納めます。



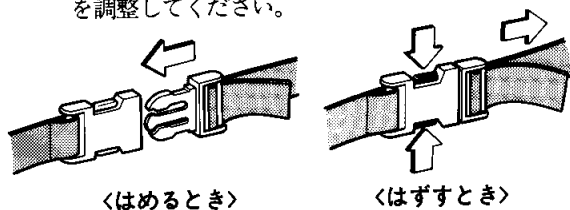
ルーフを格納するときは、車体へのキズ防止のため必ず収納袋に納めてください。
注意!

〈格納のしかた〉

1. ガラスの上面を車両前方に向け、ハンドル部を下にしてシートうしろ側に置きます。



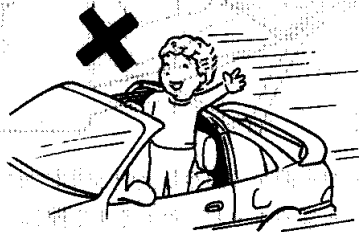
2. ベルトで固定します。ゆるいときはベルトの長さを調整してください。



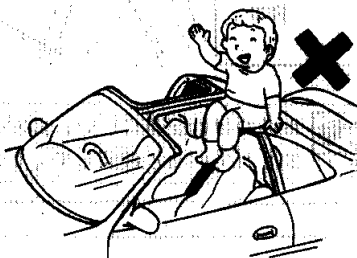


注意!

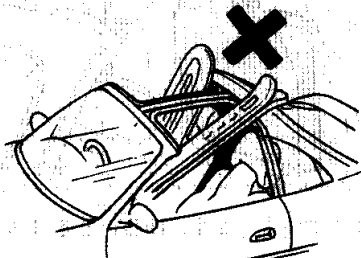
1. 走行中はルーフから手や顔を出さないでください。車外のものなどに当たったり、急ブレーキをかけたときにケガをするおそれがあり危険です。



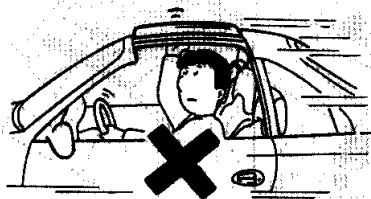
2. 開口部に腰をかけないでください。ルーフがへこんだり、万一のとき車から投げ出されるおそれがあり危険です。



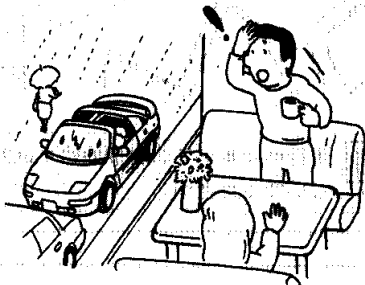
3. ルーフから荷物がはみ出さないようにしてください。車外のものに当たるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。



4. 走行中ルーフおよびサンシェードの脱着操作を絶対にしないでください。



5. 車から離れるときや洗車時には、完全に取りつけれられていることを確認してください。



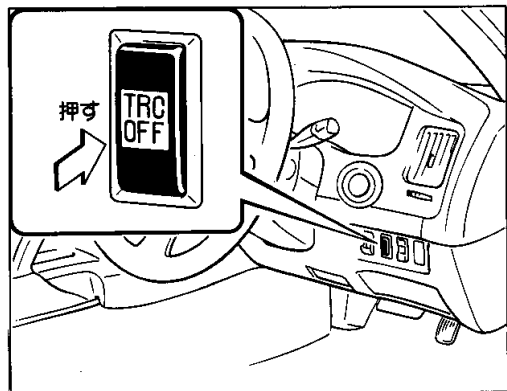
トラクションコントロール(TRC)

GT、GT-Sに注文装備

トラクションコントロールは、すべりやすい路面での発進や加速時に生じる後輪の空転を制御し、車両の安定性と後輪の駆動力を確保する装置です。エンジンスイッチをONにするとシステム作動可能状態になります。

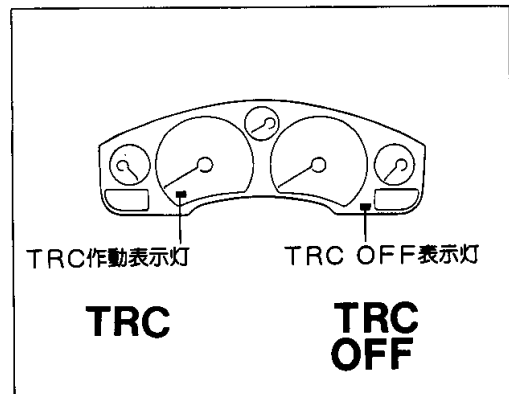
注意! トラクションコントロールを過信しないでください。トラクションコントロールが作動した状態でも車両の方向安定性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に安全運転に心がけ、作動表示灯が点滅したときはとくに慎重に運転してください。

TRC OFFスイッチ



1. スイッチを押すと作動停止状態になり、OFF表示灯が点灯します。
もう一度押すと作動可能状態になり、表示灯が消灯します。
2. 通常はできるだけ作動可能状態で使用してください。

TRC作動表示灯 & OFF表示灯



1. 作動表示灯およびOFF表示灯は、エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
2. 走行中にシステムが作動すると、作動表示灯が点滅します。

ちょっと一言

1. トラクションコントロールが正常に作動しているときは、車両の振動を感じたり、音がすることがありますが、これはブレーキ制御によるもので異常ではありません。
2. エンジンを始動するとフロントトランクから「カチカチ、トン」などの音がしますが、これはトラクションコントロールの作動をチェックしている音で異常ではありません。
3. ぬかるみ、新雪などからの脱出時、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの回転が上がらない場合があります。
4. 荒れた路面や凸凹道を走行中、作動表示灯が点滅することがありますが、異常ではありません。

△ 処置

作動表示灯、OFF表示灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

- ・エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
- ・作動表示灯が点灯したままのとき、または走行中に点灯したとき
- ・トラクションコントロールが作動可能状態でOFF表示灯が点灯したままのとき、または走行中に点灯したとき

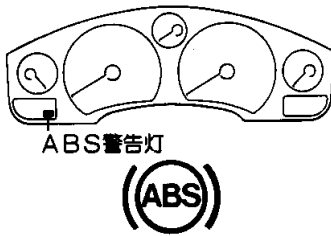
特別装備の使い方

ABS

注文装備

急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。ABSは、このような制動時の車輪のロックを自動的に防止することにより、車両の方向安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

■ABS警告灯



エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。



処置

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 走行中に点灯したとき

警告灯が点灯しているときはABSは作動せず、普通のブレーキとして作動します。なお、走行中に点灯してもその後消灯し、再度点灯しなければ正常です。



注意!

- ABSを過信しないでください。ABSが作動した状態でも車両の方向安定性や操舵性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に安全運転に心がけてください。
- 次の場合などには、とくに速度をひかえめにして車間距離を十分とってください。ABSのついていない車両に比べて制動距離が長くなることもあり事故につながるおそれがあります。
- ジャリ道、新雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
- 凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき

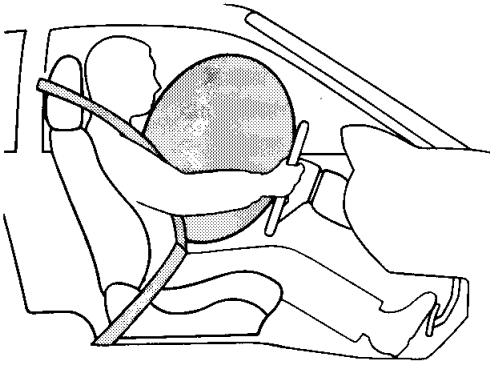


ちよつと一言

- ブレーキペダルを踏んだとき、作動音とともにペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが正常に作動しているときの現象で異常ではありません。さらにブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- エンジン始動時や始動後の発進直後および走行中にフロントトランクからモーター音が聞こえることがあります。これはシステムの作動チェックおよび正常に作動しているときの音で異常ではありません。
- ABSは、発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また、車速が約5km/hまで下がると作動をやめます。

SRSエアバッグ

注 文 装 備



SRS* エアバッグは、運転者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときにふくらみ、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて顔や頭がハンドルに直接衝突するのを防止する装置です。シートベルトは必ず着用してください。(37ページ参照)

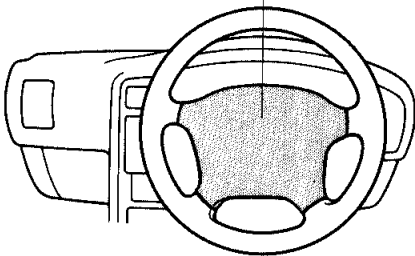
*SRSはSupplemental Restraint Systemの略で、乗員保護補助装置の意味



処 置

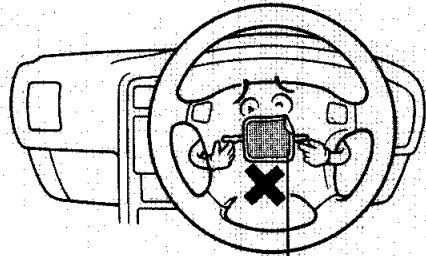
- SRSエアバッグは一度ふくらむと再使用できません。必ずトヨタ販売店で交換してください。
- SRSエアバッグが収納されているパッド部に傷がついていたり、ひび割れがあるときはトヨタ販売店で交換してください。

パッド部



注 意!

1. シートベルトを正しく着用してください。SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置でシートベルトに代わるものではありません。シートベルトを正しく着用しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができません。シートベルトの着用については37ページを参照してください。
2. シートを正しい位置に調整してください。シートを正しい位置に調整しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができません。シートの調整については33ページを参照してください。
3. 正しい姿勢でシートにすわってください。正しい姿勢ですわらないとSRSエアバッグの効果を発揮させることができません。また、ハンドルに近づきすぎると、SRSエアバッグがふくらんだときにケガをするおそれがあり危険です。正しい姿勢については33ページを参照してください。
4. パッド部をカバーやステッカーなどでおおわないでください。また、パッド部を手で強くたたくなどの衝撃を与えないでください。パッド内には、エアバッグユニットが組み込まれているため、誤ってふくらんだり、正常に作動しなくなるおそれがあります。



ステッカー

次のページへ続きます。

特別装備の使い方



注意!

5. SRSエアバッグがふくらんだあとに、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。SRSエアバッグがふくらんだあとは、構成部品が大変熱くなっていますので、やけどをするおそれがあり危険です。
6. SRSエアバッグの取り付け・取りはずし、分解などをしないでください。また、SRSエアバッグを修理するときは必ずトヨタ販売店で行ってください。SRSエアバッグを不適切にあつかうと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみケガをするおそれがあり危険です。
7. サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあり危険です。
8. 車両前部にグリルガードやウインチなどを装着する場合は、必ずトヨタ販売店にご相談ください。車両前部の改造をするとSRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあり危険です。
9. 車やSRSエアバッグを廃棄するときは必ずトヨタ販売店にご相談ください。SRSエアバッグが思いがけなく作動し、ケガをするおそれがあり危険です。



ちよつと言

- SRSエアバッグは車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。次のような衝撃が弱いときには作動しないことがあります。
 - ・コンクリートの壁に約20km/h以下の速度で正面衝突したとき
 - ・電柱に約30km/h以下の速度で正面衝突したとき
 なお、次のような場合は効果を発揮しません。
 - ・側面や後方から衝撃を受けたとき
 - ・車両が横転、転覆したとき
- SRSエアバッグが作動すると作動音とともに白い煙のようなガスが発生しますが火災ではありません。また、人体への影響もありません。